

なごむ 和

楽随處

恵子ま

書研同好会
田中 恵子

東毛歌謡愛好会

サークル紹介：21



チャリティーオープニング「八木節」



大利根先生の「花の町大泉」を踊る



チャリティ贈呈式

はなみずき通り 東毛歌謡愛好会

こんにちは。東毛歌謡愛好会です。私達は、毎週月曜日、午後2時から4時まで歌の練習をしています。講師は、最初から大利根実先生にお願いしています。

発表会は、平成元年を初回に、ほぼ毎年、他団体にも参加していただき、チャリティー、カラオケ舞踊ショーを開催してきました。

平成30年には、記念の三十回発表会を行うことができました。舞台では、5分間の主役。着物やドレスで気持ちよく歌い、スポットを浴びる。普段と違う一瞬です。

発表会は、昨年と今年は、コロナの為、中止にしています。

長く続けてこられた理由としては、会員が仲良くしていることがあげられます。会員旅行も毎年、行ってきました。北海道の雪まつりから沖縄まで。焼失後の首里城や熊野古道の木の根道等々を旅しました。

腹式呼吸を心がけながら大きな声を出して歌うことは、健康にも良い事だと思います。これからも前向きに続けて行きたいと思います。

東毛歌謡愛好会では、会員を募集しています。第1、第3の月曜日に見学に来てください。

あなたの故郷(ふるさと)はどこですか？

日本全国ふるさと発見!!

福島県福島市 ①

◆大泉町にはいつごろ

来られましたか

平成元年3月に東京都中野区から引っ越してきました。18歳までは、福島市、大学時代は東京都、就職は福島と東京の間が良いかな？と選んだ会社の入社とともに引っ越してきました。

◆ふるさと自慢

福島には、浜通り地方、中通り地方、会津地方があり、天候も全く異なります。

私の出身は、中通り地方になります。市街地の西側には、フルーツラインと呼ばれる南北14キロにもおよぶ県道が通っており、道の両側には何十件ものフルーツの直売所が並んでいます。旬の時期には、もも、なし、りんご、ぶどう等多くの種類の果物が売られています。

◆心に残る風景

フルーツラインのフルーツ直売所で購入するのは、主に市街地の人や観光客です。我々郊外の居住者は、直接知り合いから分けてもらうのが常でした。

小学校時代に果樹農家の友人宅に遊びに行くと、帰りの自転車の籠はいつも果物で一杯でした。懐かしい思い出です。



参考：一般社団法人
福島市観光コンベンション協会ホームページ

◆大泉町のすきなところ

大泉町での会社員時代に、会社の建屋や社員寮を取り壊す業務を行ったことがあります。建屋の地下には、大きな防空壕や戦後の病院跡、社員寮には、GHQの施設名のプレートが残っていたり…。この昔の面影と大泉町が私の中では交差されて記憶を形作っており、大泉町には昔から居たような懐かしさに似た愛着があります。いまでは、間違いなく私のふるさとです。

◆方言

震災の時、よく「がんばっぺ福島」という掛け声が聴かれましたが、今ひとつシックリきません。私的には、「がんばっぺ」に「で」が付いて、「がんばっぺで福島」この「で」が重要なんだぞい。

S.S

福島県福島市の概要

- 面積 767.72Km²
- 人口 283,495人
(令和3年7月1日現在)
- 市の木 ケヤキ
- 市の花 モモ

参考：福島県福島市ホームページ



ぼくとテニス



東小5年
おぐま ひろたか
小 熊 宏 尚

ぼくは、5才のころからテニスをやっています。始めたきっかけは、錦織選手がテニスのグラインドスラムで活やくしているのを見て、あんなすごい選手になりたいなと思ったからです。

最初は、町のテニスチーム大泉ジュニアに入りました。始めたころは空ふりやコートに入らずアウトしてばかりでした。くやしかったので練習を一生けんめいして3年生の頃にはサーブやストロークが入るようになりました。

テニスをするので、友達やチームメイトができました。いっしょに練習したり、テニスの事や他のいろいろな話しをして、すごく楽しいです。今は、県大会、関東オープン大会にも出場しています。強ごうぞろいでなかなか勝てませんが、前後左右打ち分けなどの練習を頑張り、チームメイトと競っていっしょに高みをめざしています。

今の目標は、県の予選会で上位に入賞し、関東大会に出場することです。特に友達と組んだダブルスで上位に入賞できたらすごくうれしです。

すよつとい話

あの時のあの青い空

時として災いは、予期せぬ再会をもたらす。今から10年前、東日本大震災の後、大学時代にホームステイした時の滞在先のホストマザーと、SNSを通じて25年ぶりにコンタクトを取ることができたのだ。日本で発生した未曾有の大震災の報道を知って、彼女の家族と共に僕の安否を気にかけてくれていたという。1か月にも満たない短い期間を共にしただけの、日本から来た只の一学生であった僕という存在が、四半世紀過ぎた後も、彼女達の記憶の片隅に残っていたことを知った時の感動は、今でも忘れがたい。

仕事と私生活に忙殺され、SNSを通じた彼女とのメールのやり取りは、残念なことにそれから1年も経たずして、途絶えてしまった。しかし、新型コロナウイルスの感染が世界的に広がった昨年、再び僕の安否を気遣うメールが彼女から届いた。高齢と呼べる年齢に達している彼女が、日本より状況的に厳しい合衆国で、無事できてくれたこともそうだが、僕のことをを今もなお気遣ってくれたことが、何よりも嬉しかった。辞書を片手にメールを書いた10

年前と違い、今は翻訳ソフトが僕の英文作成をサポートしてくれる。10年前の轍を踏まぬよう、自分のペースで、無理なく彼女との電子文通を続けていこうと思っている。僕がホームステイしたのは、アメリカの西海岸、カリフォルニア州にあるミッシェンビエホという小さな市だ。本場のデイズニールンドがあるアハハイムから40キロほど南東に位置している。滞在した1か月弱の間に、異文化に触れ又学び、現地の人々とふれあい、忘れ得ぬ思い出がいっつもできた。しかし、最も印象に残っているのは、着陸した飛行機を降りて、ふと視線を上げた先の視界に広がった、突き抜けるように高く美しいカリフォルニアの青い空であった。忌々しいこの災厄が収束したら、あの空をこの目でもう一度見たい。僕の小さな、そして切なる願いである。

H・Y



遠い昔の1コマ

数十年前の夏の日、役場の建設が終盤に近づいた頃、敷地内に池があるのに気がついた。今では想像できないくらい綺麗な水がイッパイ、魚もいない。特に暑い日その場所へ、友だちと顔をあわせニヤツとしながらそのまま「ドボン」と水遊び、隅から隅まで歩きまわった。

そのうち、遠くから「コラー」の声、直ぐさま池から上がり帰宅したのは言うまでもない。

子ども時代の思い出でした。

H

大泉町公民館からのお知らせ

8月13日(金)から16日(月)はお盆のため、町公民館・南別館ともに午後5時で閉館とさせていただきます。

※住民活動支援センターは、13日(金)と16日(月)は通常通り午後6時30分までご利用できます。

大泉町公民館図書室 お勧めの一冊！

みなさんにお馴染みの「上毛かるた」もできてから年月が過ぎ、絵札の意味がわかりにくくなってきました。

この『絵本』では、登場人物たちが絵札の元となった場所を訪ね、また、タイムスリップし、絵札を一つ一つ紹介していきます。さらに後ろには、説明もあり、学生のみならず大人の方にも読んで欲しい「絵本」です。

コロナの感染予防対策をして、絵札の場所に出かけてみるのも良いですね。

『絵本 上毛かるた』
群馬地域文化振興会



生涯学習講座

「パーソナルカラーレッスン」 《レポート》

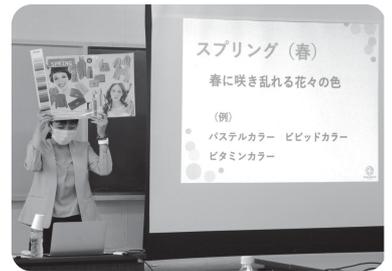
7月18日・25日に町公民館で生涯学習講座「パーソナルカラーレッスン」を開催しました。

講師は、日本カラーコーディネーター協会の認定講師の高橋名都紀さん。太田市でパーソナルカラーサロン DIAMOND を主宰する傍ら、各種学校での色彩授業や企業、個人向け研修の講師など、幅広く活躍されています。

講座では、18人の参加者が、瞳や肌の状態から、個々にあったパーソナルカラーの診断や化粧品やファッションへの生かし方について学びました。

参加者からは、「色の組合せで、こんなにも印象が変わるとは思わなかった」、「自分に合うファッションがわかった」等の感想がありました。

色の持つ力、奥深さやファッション等の生活への生かし方を学んだ講座でした。



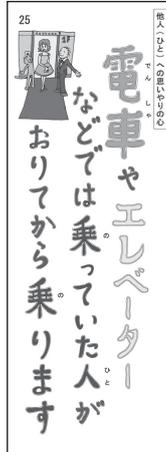
●心を育てる大泉町ルールブック

「クレド君といっしょに」

大泉町教育委員会でまとめた、生活していく中で守った方がよい44のルールから、今月号でも一部を紹介します！



他のルールは、こちらのQRコードから町のホームページにてご覧いただけます！



大泉町公民館をより「和」7月号に掲載した記事に誤りがありました。「住吉栄楽公園」は、「末吉栄楽公園」でした。お詫びし、訂正致します。

大泉町公民館をより「和」7月号に掲載した記事に誤りがありました。

〈和〉

「梅雨明け」と聞いて早速梅を干す。三日間は丁寧に戻したりと相当手間がかかる。この快晴と猛暑で出来映えは上々か？手のかかるこんな地味な仕事を続けている人も少ないだろう。おいしいと食べてくれる人を励みに、今年も完成間近となった。干した梅の匂いと、草取りに欠かせない蚊取り線香の匂いが私の夏の始まりを告げる。

〈京〉

あの時、私は10才だった。ブラウン管のテレビで「東洋の魔女」や「マラソン円谷」を観戦した。今年は、薄型大画面でそれを見る。ある時は、応援グッズ、ある時は、ビール片手に。オリンピックは、夢と感動の宝庫。今やっと現実になる……。

〈章〉

50年後の「ち」の札は、果たして何万人になっているのでしょうか？

50年ほど前、少年だった私がかかった上毛カルタ。「ち」の札は、「力合わせる160万」でした。最近の「ち」の札は、「力合わせる200万」です。

へんしゅ(へんしゅ)